

2014年9月26日

各 位

サムスン電子ジャパン株式会社  
早稲田大学エクステンションセンター  
株式会社角川アスキー総合研究所  
一般社団法人ナレッジキャピタル

～16歳以上を対象とした、アプリ開発人材育成総合カリキュラム～  
**「Tech Institute™アプリ開発者養成講座」第2期**  
**2015年1月から東京・大阪で実施**

サムスン電子ジャパン株式会社(本社:東京都港区、代表取締役:方常源、以下、サムスン電子ジャパン)は、日本で若者のアプリ開発人材を育成する社会貢献プログラム「TechInstitute™(テック・インスティテュート)」を2014年7月から東京で実施しております。この実績をもとに、2015年1月からは大阪でも実施することとし、2014年9月25日(木)より東京・大阪で受講生の募集を開始しました。

**1. アプリ開発人材の不足に対応、専門家が連携して体系的な講座を開設**  
**6ヶ月間で130時間の授業を提供**

私たちの生活を便利に、社会をスマートにするアプリのニーズが急拡大する中、アプリ開発人材の不足は深刻であり、体系的な育成プログラム・教育環境も限られています(別添4)。2014年6月に総務省より発表された「スマート・ジャパンICT戦略」でも、プログラム人材の育成について重要性が指摘されています。

このような社会的ニーズのもと、サムスン電子ジャパン、早稲田大学エクステンションセンター(本校:東京都新宿区、所長:太田正孝、以下、早稲田大学EXセンター)、株式会社角川アスキー総合研究所(本社:東京都文京区、代表取締役社長:角川歴彦、以下、角川アスキー総研)の3者が連携し、Android™用アプリの開発者養成講座「Tech Institute™アプリ開発者養成講座」を2014年7月に早稲田大学EXセンターの講座として開設しました。定員50名に対して263名の(5.3倍)の応募があり、2014年12月までの6か月間で全65回130時間(平日夜間2時間、週3回)に及ぶ基礎から応用に至る授業を実施しております。なお、本講座は16歳以上を対象とし、20歳以下は無料で受講できます。

**2. 第2期からは東京・大阪で開設**

これまでの実績をふまえ、2015年1月から開始する第2期は、東京においては早稲田大学EXセンターが3者連携による講座として引き続き開設するとともに、大阪でもサムスン電子ジャパン、角川アスキー総研、一般社団法人ナレッジキャピタル(代表理事:宮原秀夫、以下、ナレッジキャピタル)が連携し、JR大阪駅に直結するグランフロント大阪の中核施設ナレッジキャピタルで新たに講座を開設します。東京・大阪いずれも、第1期同様、早稲田大学理工学術院寛捷彦教授監修によるカリキュラムを用い、6か月間で130時間に及ぶ授業を実施します。対象者の条件・受講料は、東京・大阪で変わりありません。なお、大阪では定員を30名とし、大阪近郊からの受講生を配慮して毎週日曜日に6時間の集中授業を行います(全22回)。これにより、「Tech Institute™」は東京・大阪で年間160名の専門人材を育成し、日本のアプリ開発者養成の期待に応えてまいります。

□ 運営体制

Tech Institute™ アプリ開発者養成講座 第2期			
拠点	東京	拠点	大阪
主催	早稲田大学EXセンター	共催	角川アスキー総研、ナレッジキャピタル
協力	角川アスキー総研	協力	早稲田大学EXセンター
寄付	サムスン電子ジャパン	協賛	サムスン電子ジャパン

□ Tech Institute™ アプリ開発者養成講座 第2期 実施・募集概要（詳細別紙参照）

拠点	東京	大阪
実施時期	2015年1月14日(水)～6月23日(火)	2015年1月25日(日)～6月28日(日)
授業カリキュラム	平日3日/週(2時間/日)、全65回、 130時間	毎週日曜(6時間/日)、全22回、 130時間
実施場所	早稲田大学EXセンター中野校 東京都中野区中野4丁目22番3号 早稲田大学中野国際コミュニティプラザ1階	ナレッジキャピタル ナレッジサロン「プレゼンテーションラウンジ」他 大阪府大阪市北区大深町3-1 グランフロント大阪 ナレッジキャピタル
対象者・定員	16歳以上(*)・50名 *2014年4月1日時点	16歳以上(*)・30名 *2014年4月1日時点
受講料	1993年4月2日以降に生まれた方は、受講料免除 1993年4月1日以前に生まれた方は、受講料70,000円	
応募期間	2014年9月25日(木)～11月6日(木)	
審査	書類選考(エントリーシート、企画書)、面接選考	
書類選考発表	2014年11月17日(月)	
面接選考	2014年11月20日(木)～11月22日(土)	
受講者発表	2014年12月1日(月)	
受講手続き	2014年12月11日(木)	

【 本件に関する報道関係からのお問い合わせ 】

一般社団法人ナレッジキャピタル

担当 : 稗方 (TEL:06-6372-6427、Mail:press@kc-ijp)

以 上

※「Tech Institute」は、日本国内において、サムスン電子ジャパン株式会社の商標または商標登録です。

※「Android」は、Google Inc.の商標または登録商標です。

## [東京] Tech Institute アプリ開発者養成講座(募集要項)

□監修および講師陣代表:

監修 笈 捷彦 (早稲田大学理工学術院教授)  
講師代表 嶋 是一 (日本Androidの会 代表)  
教材執筆者代表 柴田 文彦 (エンジニアリングライター)

□日程: 2015年1月14日(水)~6月23日(火) 全65回 (時間は19:00~21:00)

\* 授業のスケジュールはTech InstituteのWebサイト(<http://techinstitute.jp/>)を参照

□場所: 早稲田大学エクステンションセンター中野校

所在地 〒164-0001 東京都中野区中野4丁目22番3号  
早稲田大学中野国際コミュニティプラザ1F

□受講対象者: 1998年4月1日以前に生まれた方(2014年4月1日時点で16歳以上)  
第1期Tech Institute受講生は受講できません

□受講条件: Androidアプリ開発に意欲、熱意があり、最後まで継続して学べること

□定員: 50名

□受講料: 1993年4月2日以降に生まれた方は、受講料免除  
1993年4月1日以前に生まれた方は、受講料70,000円

□応募・選考:

(1) 応募期間 2014年9月25日(木)~11月6日(木)  
(2) 提出先 早稲田大学エクステンションセンター中野校  
(3) 提出書類 エントリーシート、企画書 等  
(4) 書類選考結果発表 2014年11月17日(月)  
(5) 面接選考 2014年11月20日(木)~22日(土)  
(6) 受講者発表 2014年12月1日(月)

\* 応募・選考の詳細は、Tech InstituteのWebサイト(<http://techinstitute.jp/>)を参照

□問い合わせ先:

早稲田大学エクステンションセンター中野校  
Tech Institute アプリ開発者養成講座(東京)エントリー係  
電話 : 03-5942-7210 受付時間 : 火~土 9:30~17:00(日曜・祝日・休業日を除く)  
E-mail : Tech-appcourse@list.waseda.jp URL : <http://techinstitute.jp/>

## [大阪] Tech Institute アプリ開発者養成講座(募集要項)

□監修および講師陣代表:

監修 笈 捷彦 (早稲田大学理工学術院教授)  
講師代表 有山 圭二 (有限会社シーリス 代表)  
教材執筆者代表 柴田 文彦 (エンジニアリングライター)

□日程: 2015年1月25日(日)~6月28日(日) 全22回 (毎週日曜 13:00~19:00)

\* 授業のスケジュールはTech InstituteのWebサイト(<http://techinstitute.jp/>)を参照

□場所: グランフロント大阪北館 ナレッジキャピタル7F  
ナレッジサロン 「プレゼンテーションラウンジ」他

所在地 〒530-0011 大阪府大阪市北区大深町3-1  
グランフロント大阪 ナレッジキャピタル

□受講対象者: 1998年4月1日以前に生まれた方(2014年4月1日時点で16歳以上)  
第1期Tech Institute受講生は応募できません

□受講条件: Androidアプリ開発に意欲、熱意があり、最後まで継続して学べること

□定員: 30名

□受講料: 1993年4月2日以降に生まれた方は、受講料免除  
1993年4月1日以前に生まれた方は、受講料70,000円

□応募・選考:

(1)応募期間 2014年9月25日(木)~11月6日(木)  
(2)提出先 角川アスキー総合研究所  
(3)提出書類 エントリーシート、企画書 等  
(4)書類選考結果発表 2014年11月17日(月)  
(5)面接選考 2014年11月20日(木)~22日(土)  
(6)受講者発表 2014年12月1日(月)

\* 応募・選考の詳細は、Tech InstituteのWebサイト(<http://techinstitute.jp/>)を参照

□問い合わせ先:

株式会社角川アスキー総合研究所 Tech Institute係  
電話 : 06-6479-1723 受付時間 : 月~金 10:00~17:00(土日・祝日除く)  
E-mail : [info@techinstitute.jp](mailto:info@techinstitute.jp) URL : <http://techinstitute.jp/>

## Tech Institute アプリ開発者養成講座 講座内容

	内容	到達目標
ファーストステップ (12時間)	入門・基礎知識 習得	<ul style="list-style-type: none"> <li>・OSとデバイス、インターネットとの関係を理解している</li> <li>・Androidアプリの開発環境を構築できる。</li> </ul>
基礎編 (12時間)	UI 基礎知識 理解 プログラミング 理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Android固有のUI設計ポイントを説明できる。</li> <li>・プログラミングにおける基礎理論を説明できる</li> </ul>
ステップアップ編 (10時間)	ユーティリティ 実践 Java 言語 理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Androidを構成する要素を理解し、組み合わせることができる</li> <li>・Java言語の概要を理解し、簡単なコードが書ける</li> </ul>
応用編 (12時間)	Android 仕組み 理解 View システム 実践	<ul style="list-style-type: none"> <li>・APIドキュメントで、クラス・メソッドの仕様を調べることができる。</li> <li>・AndroidのViewやUIコンポーネントを理解し、Viewのカスタマイズができる</li> </ul>
機能編 (64時間)	テーマ別 実践	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グラフィック、AV、ネットワーク、センサー、APIなどのテーマに則した機能を盛り込んだアプリを作ることができる。</li> </ul>
実習編 (12時間)	アプリ設計・制作	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Androidアプリの企画と開発ができる。</li> <li>・制作したAndroidアプリをプレゼンテーションすることができる。</li> </ul>
公開 ブラッシュアップ (8時間)	Google Play へ公開	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Google Playにアプリを公開することができる。</li> <li>・アプリ開発のライフサイクルを理解し説明できる。</li> </ul>

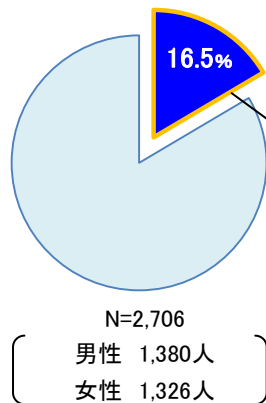
## アプリ開発およびアプリ開発講座に関する調査結果

### 調査概要

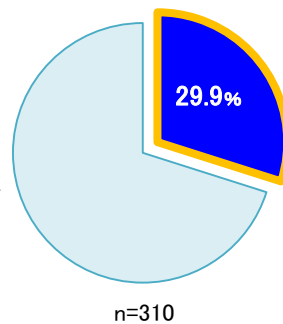
調査方法: Webアンケート  
調査時期: 2013年11月下旬  
調査対象: 15～34歳男女(インターネット利用者)  
サンプル数: 2,706名(ネット利用者の性年代構成等に合わせて補正して集計)  
調査実施: サムスン電子ジャパン株式会社、株式会社角川アスキー総合研究所

### 1. 15～34歳の男女のうち約17%が、アプリ開発講座等への参加意欲あり 特に、15～19歳の男性で約30%の高い関心を持つ

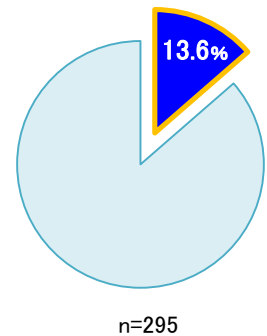
回答者全体(男女15～34歳)



男性 15～19歳



女性 15～19歳

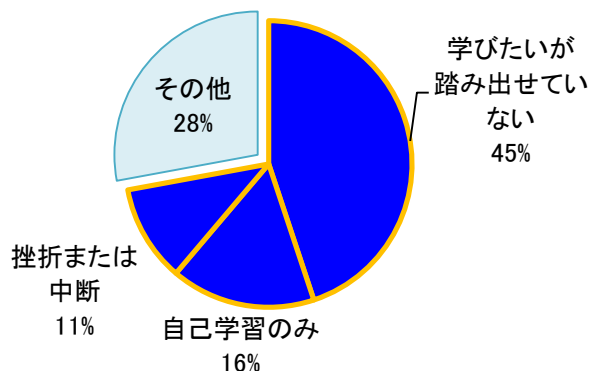


アプリ開発に関する講座やセミナー、勉強会等への参加意向を調べると、回答者全体では、「参加する予定」「今後参加したい」という積極的な層が3.3%、「興味はあるので、できれば参加したい」という層まで合わせると16.5%で、15～34歳男女の6人に1人は、アプリ開発を学ぶことに関心があることがわかりました。とくに若年層でその傾向が強く、10代後半男性では29.9%がアプリ開発を学びたいと考えています。

### 2. 参加意向のある男女のうち72%が、これまで教育の機会がなく、独学または学習を断念していた

アプリ開発を学ぼうとした経験等

n=677



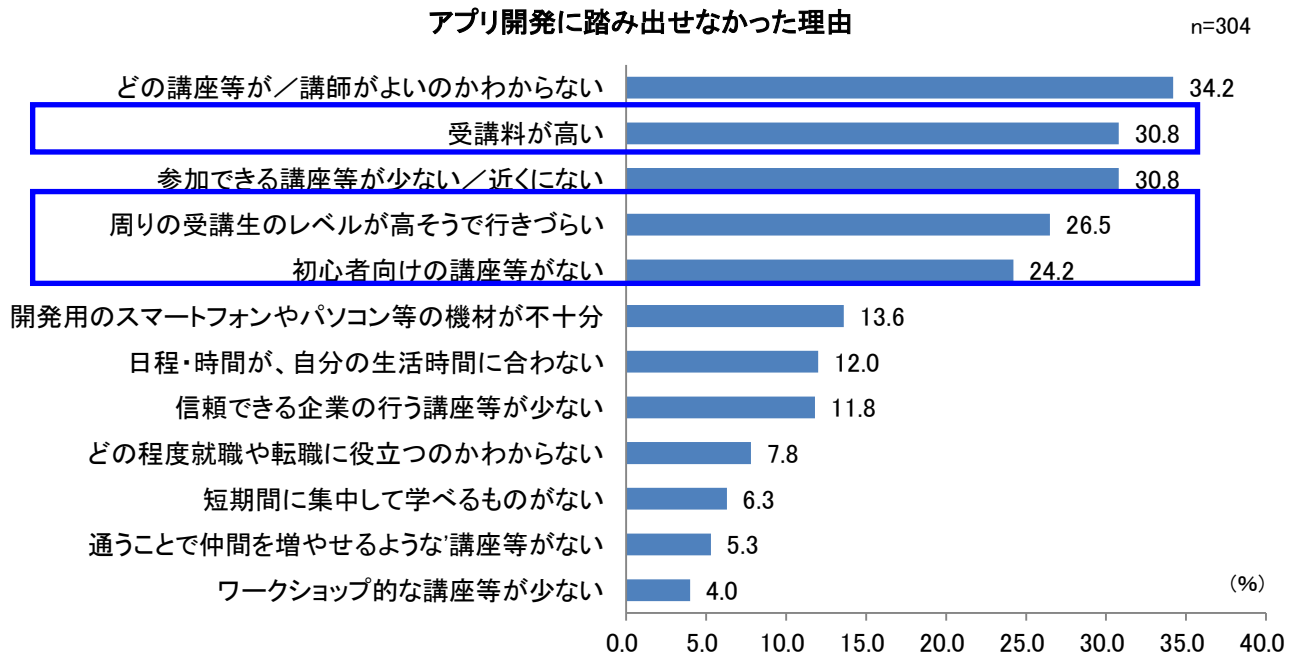
回答者の中から抽出した、アプリ開発やアプリ開発講座の受講に関心の高い層(677人)に、過去のアプリ開発講座への参加経緯等を聞いたところ、「学びたいが踏み出せていない」45%、「本を読むなど学んだだけ」16%、「学ぼうとしたが、挫折、または中断している」11%と、学習をあきらめている層が72%もいることがわかりました。

### 3. 「学びたいが踏み出せていない」と回答した45%にその理由を尋ねたところ、

① 受講料が高いため 30%

② 初心者から学べる環境が少ないため 25%

という現状が浮き彫りとなった



アプリ開発やアプリ開発講座の受講に関心の高い層(677人)のうち、これまでは「学びたいが踏み出せていない」と回答した45%(304人)にその理由を聞いたところ(複数回答)、約30%が「受講料が高い」と感じており、また「周りの受講生のレベルが高そう」「初心者向けの講座がない」など、初心者から学べる環境が少ないと感じている人も、4人に1人いることがわかった。